

平成 31 年度

# 大学院看護学研究科看護学専攻学生募集要項

(修士課程)



金 沢 医 科 大 学  
大学院看護学研究科

石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地  
〒920-0293 TEL(076)286-2211

# 出願手続きから入学までの日程

## 《第1次募集日程》

事 項	日 程
出願資格認定の申請期間 (出願資格審査が必要な者)	平成30年7月23日(月)～7月27日(金)
出 願 期 間	平成30年8月13日(月)～8月17日(金)
試 験 期 日	平成30年8月25日(土)
合 格 者 発 表	平成30年9月5日(水)
入 学 手 続	平成30年9月14日(金)まで
入 学	平成31年4月

## ※《第2次募集日程》

事 項	日 程
出願資格認定の申請期間 (出願資格審査が必要な者)	平成30年11月26日(月)～11月30日(金)
出 願 期 間	平成30年12月25日(火)～平成31年1月4日(金)
試 験 期 日	平成31年1月19日(土)
合 格 者 発 表	平成31年1月30日(水)
入 学 手 続	平成31年2月8日(金)まで
入 学	平成31年4月

※第2次募集は、第1次募集で定員を充足しなかった場合のみ実施しますので、平成30年10月以降に金沢医科大学看護学部事務課(大学院看護学研究科担当)又は本学のホームページでご確認ください。

# 目 次

## I. 募集要項

1. 教育理念、教育目標、アドミッションポリシー	1
2. 募集人員	1
3. 出願資格	1
4. 出願に必要な書類	2
5. 大学院設置基準第14条（教育方法の特例）の適用について	3
6. 出願期間	3
7. 出願手続	3
8. 専門領域、教育研究分野別連絡先教員名	4
9. 出願資格の認定	4
10. 入学者選抜方法	5
11. 試験期日および試験会場	5
12. 合格者発表	5

## II. 入学手続

1. 入学手続きおよび学納金等	6
2. 奨学金制度	6
3. 修業年限および修了の要件	6
4. 長期履修制度	6

## III. 研究指導に関わる教員と研究テーマ・研究指導内容

7

## IV. 個人情報の取り扱いについて

8

## V. アクセス

8

## VI. 問い合わせ先

8

# I. 募集要項

## 1. 教育理念、教育目標、アドミッション・ポリシー

### 教育理念

学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を極め、学術及び教育の振興を図り、保健・医療・福祉の発展と地域医療・看護の進歩に寄与する高度で専門的な知識と能力を有する高度看護専門職者及び教育者を育成する。

### 教育目標

#### 1) 高齢・過疎化地域における高度看護専門職者の育成

地域や住民のニーズと特性を活かした看護実践に必要な知識と能力を兼ね備え、高齢・過疎化地域における地域医療・看護の提供と地域医療・看護の発展に貢献できる高度看護専門職者を育成する。

#### 2) 特定分野における高度看護専門職者の育成

特定分野において高度な専門的知識・能力に基づいた地域医療・看護の提供、看護実践の質向上に貢献できる特定分野における高度看護専門職者を育成する。

#### 3) 看護教育者の育成

確かな教育実践に必要な知識と能力を兼ね備え、看護専門職の育成と看護教育の発展と質向上に貢献できる看護教育者を育成する。

### アドミッション・ポリシー

本研究科は、看護の質の向上および看護学の学際的发展に寄与できる高度看護専門職者、看護教育者・研究者を育成することを目指しています。このような観点から、以下のような人材を求めています。

- 1) 看護職として基礎的に必要な知識・技術、看護実践能力を有している人
- 2) 医療技術の高度・専門化、社会情勢の変化・ニーズに応える地域医療・看護の提供に貢献する意志のある人
- 3) 地域や住民の特性を活かした看護実践の質向上に意欲のある人
- 4) 教育現場や医療・看護現場における課題を学術研究として行うことで看護学の学際的发展に貢献する意志のある人
- 5) 看護教育者として看護専門職者の育成に貢献する意志がある人

## 2. 募集人員

看護学研究科看護学専攻（修士課程）6名

領域	分野	
看護教育学領域	看護教育学分野	
地域生活支援看護学領域	地域生活支援看護学分野	地域健康支援看護学 生活支援看護学 高齢者支援看護学 創傷・スキンケア看護学 精神保健支援看護学
高度実践看護学領域	精神看護学分野（専門看護師教育課程）	
	クリティカルケア看護学分野（専門看護師教育課程）	

## 3. 出願資格

本研究科入学の出願資格は、次のいずれかに該当する者とする。

- ① 大学を卒業した者（卒業見込みの者を含む）
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により、学士の学位を授与された者（大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者）（見込み者を含む）

- ③ 外国において16年の学校教育を修了した者（見込み者を含む）
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（見込み者を含む）
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（見込み者を含む）
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者（見込み者を含む）
- ⑦ 文部科学大臣が指定した者
- ⑧ 大学に3年以上在学又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、かつ所定の単位を優秀な成績で修得し、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科が認めた者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科が認めた者
- ⑩ 看護師、保健師、助産師のいずれかの免許を有し、3年以上の看護関連の実務経験を有する者のうち、本研究科において個別の出願資格審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者

※入学志願者のうち高度実践看護学領域に出願できる者は、①～⑩のいずれかに該当する者で、入学時において看護師の資格取得後、5年以上の看護関連の実務経験（うち、3年以上は「精神看護学分野」又は「クリティカルケア看護学分野」に関する実務経験）を有することが必要である。

出願資格⑧、⑨、⑩のいずれかにより出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格審査を行います。4ページの「出願資格の認定」に必要な書類を提出してください。

#### 4. 出願に必要な書類

①	入学願書【様式1】	本学所定の用紙
②	写真票・受験票【様式2】	本学所定の用紙
③	写真3枚	無帽上半身正面・背景無地（縦4cm×横3cm）とし、出願以前3か月以内に撮影したもので、入学願書、写真票・受験票の所定欄に貼付してください。
④	卒業（見込）証明書又は修了（見込）証明書	出願資格となる出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。本学看護学部および金沢医科大学附属看護専門学校卒業者は不要です。
⑤	成績証明書	出願資格となる出身学校長が作成し、厳封したものを提出してください。本学看護学部および金沢医科大学附属看護専門学校卒業者は不要です。
⑥	研究計画書【様式3】	本学所定の用紙（「高度実践看護学領域」受験者は提出不要）同様式であれば、パソコンで作成したもので可とします。
⑦	受験票送付用封筒	所定の封筒に、郵便番号、住所、氏名を記入し、362円分の切手を貼付してください。
⑧	入学検定料	入学検定料は30,000円です。所定の郵便振替払込用紙を使用して、郵便局へ払込み、郵便振替払込受付証明書を写真票の裏面に貼付してください。なお、払込みされた入学検定料は返還しません。
⑨	受験許可・就学承諾書	社会人として修学を希望する者のみ、勤務先の所属長（又は任命権者）の承諾書が必要です。

※改姓（改名）により証明書等の氏名が異なっている場合には、変更の事実を証明できるもの（戸籍抄本等）を添付してください。なお、出願資格認定時に戸籍抄本等を提出してある場合は、再提出は不要です。

※④・⑤については、出願資格認定時に提出してある場合は、再提出は不要です。

## 5. 大学院設置基準第14条（教育方法の特例）の適用について

本学大学院では、大学院での修学を容易にするために大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例を適用し、下記のとおり授業を行います。ただし、本特例を受ける場合であっても、本大学院が指定した講義等の日時の範囲内で受講が可能でなければなりません。

- 1) 14条特例に基づき、以下の授業時間を設けています。  
平日：6限（18時00分～19時30分）、7限（19時40分～21時10分）  
土曜：1～7限（9時00分～21時10分）
- 2) 特別の必要があると認める場合は、学生の休業日に授業又は研究指導を行う。教育方法の特例による履修については、学生の希望に基づき、主指導教員が相談に応じ、授業担当教員の下承を得て実施します。

## 6. 出願期間

第1次募集	平成30年8月13日（月）～8月17日（金）消印有効
第2次募集	平成30年12月25日（火）～平成31年1月4日（金）消印有効

## 7. 出願手続

### 1) 出願方法

志願者は「出願に必要な書類等」を一括して所定の封筒に入れ、「書留郵便」で郵送又は「直接持参」してください。直接持参する場合の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとし、土曜日および日曜日の受付は行いません。

### 2) 提出先

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地  
金沢医科大学看護学部事務課（大学院看護学研究科担当）

### 3) 出願および受験にあたっての注意事項

- ① 志望する者は、指導希望教員と出願手続前に連絡をとり合ってください。  
（8. 専門領域、教育研究分野別連絡先教員名を参照）
- ② すべての書類に記入もれ等がないか確認してください。出願書類に不備がある場合は受理しないことがあります。
- ③ 出願書類受理後は、いかなる理由があっても書類の返却、記載事項の変更および入学検定料の払い戻しはしません。
- ④ 出願書類に不正な事実があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 受験に関する注意事項（試験場、試験実施方法等）は受験票とともに送付します。
- ⑥ 試験期日3日前までに受験票が届かない場合は、金沢医科大学看護学部事務課（大学院看護学研究科担当）TEL（076）286-2211（内線7733）まで問い合わせてください。
- ⑦ 受験に際しては受験票を必ず携帯してください。
- ⑧ 試験開始20分前までに集合してください。

## 8. 専門領域、教育研究分野別連絡先教員名

教員に連絡をとる場合は、本学看護学部事務課（大学院看護学研究科担当）にご連絡ください。また、各教員については金沢医科大学ホームページの研究者データベースを参照してください。

([http://www.kanazawa-med.ac.jp/kenkyu/scholar\\_data.html](http://www.kanazawa-med.ac.jp/kenkyu/scholar_data.html)) 「研究者データベース」)

連絡先：電話（076）286-2211（内線 7733）、E-mail：kangojin@kanazawa-med.ac.jp

領 域	分 野	連絡先教員
看護教育学領域	看護教育学分野	坂井 恵子、矢野 恵子
地域生活支援看護学領域	地域健康支援看護学	森河 裕子
	生活支援看護学	小林 淳二、前田 修子 村角 直子
	高齢者支援看護学	平松 知子
	創傷・スキンケア看護学	紺家 千津子
	精神保健支援看護学	深沢 裕子、田中 浩二 長山 豊
高度実践看護学領域	精神看護学分野 (専門看護師教育課程)	深沢 裕子、田中 浩二 長山 豊
	クリティカルケア看護学分野 (専門看護師教育課程)	紺家 千津子

## 9. 出願資格の認定

本要項「出願資格」の⑧、⑨、⑩のいずれかにより出願する者には、以下により出願資格審査を行います。なお、必要がある場合は面接を行います。また、出願を希望する者は、指導希望教員と出願資格の認定申請前に連絡をとり合ってください。

### 1) 認定基準

著書、学術論文、研究発表等により大学卒業と同等以上の学力があると認められる者であること

### 2) 提出書類

①	入学試験出願資格認定申請書【様式4】	本学所定の様式
②	履歴書【様式5】	本学所定の様式
③	在職証明書【様式6】	本学所定の様式
④	研究業績等調書【様式7】	本学所定の様式
⑤	成績証明書	ア) 最終学校（最終学歴の学校）長が作成し、厳封したものを提出してください。 イ) ア以外の教育機関で看護教育（看護師、保健師および助産師）を受けた者は、 <u>当該校のものもすべて提出してください。</u>
⑥	卒業（見込）証明書又は 修了（見込）証明書	上記の成績証明書を発行した学校のものすべて提出してください。
⑦	免許証の写し	看護師、保健師又は助産師の免許証の写しを提出してください。

※改姓（改名）により証明書等の氏名が異なっている場合は、変更の事実を証明できるもの（戸籍抄本等）を添付してください。

### 3) 申請書類提出先

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地  
金沢医科大学看護学部事務課（大学院看護学研究科担当）

### 4) 提出方法

出願資格審査を希望する者は、出願書類一式を「書留郵便」で郵送又は「直接持参」してください。直接持参する場合の受付時間は、平日の午前9時から午後5時までとし、土曜日および日曜日の受付は行いません。

### 5) 申請期間

第1次募集	平成30年7月23日（月）～7月27日（金）消印有効
第2次募集	平成30年11月26日（月）～11月30日（金）消印有効

### 6) 審査の結果

審査の結果は、第1次募集は平成30年8月8日（水）、第2次募集は平成30年12月19日（水）以降に申請者あてに郵送により通知します。

## 10. 入学者選抜方法

選抜は学力検査（筆記試験、面接試験）および研究計画書等により総合的に判定します。

筆記試験科目・面接試験および時間

	試験科目	時間
筆記試験	外国語（英語）※1	9:30～10:30
	専門科目※2	11:00～12:00
面接試験	面接	13:00～

※1 外国語（英語）の試験における辞書の持込みを許可します。ただし、電子辞書の持込みはできません。

※2 専門科目は、入学願書に記入した志望する領域・分野を受験してください。ただし、地域生活支援看護学分野を志望する受験生は、地域健康支援看護学、生活支援看護学、高齢者支援看護学、創傷・スキンケア看護学、精神保健支援看護学から1科目選択してください。

## 11. 試験期日および試験会場

試験期日	第1次募集	平成30年8月25日（土）
	第2次募集	平成31年1月19日（土）

試験会場：金沢医科大学看護学部  
石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地

## 12. 合格者発表

第1次募集	平成30年9月5日（水）10:00
第2次募集	平成31年1月30日（水）10:00

金沢医科大学本部棟正面玄関前に掲示するとともに、合格者には、合格通知書を送付します。なお、合否に関する問い合わせには、一切応じません。



## Ⅱ. 入学手続

### 1. 入学手続きおよび学納金等

合格者は第1次募集は平成30年9月14日（金）まで、第2次募集は平成31年2月8日（金）までに必要書類の提出および学納金等の納入を完了してください。

#### 1) 提出書類

- ① 誓書（身元保証人）……………1通（所定のもの）
  - ② 学生身上届……………1通（所定のもの）
  - ③ 住民票又は戸籍記載事項証明書……………1通
  - ④ 写真……………2枚（学生身上届の貼付分含む）  
無帽上半身正面・背景無地（縦4cm×横3cm）とし、提出以前3ヵ月以内に撮影したもの
- \* 出願時に、卒業（修了）見込者は、平成31年3月29日（金）までに、卒業（修了）証明書を1通提出してください。

#### 2) 学納金等

合格者が入学手続時に納入する金額は、下記のとおりとします。ただし、学業成績優秀な学生については、審査のうえ学納金を減免することがあります。

区 分	初年度	次年度
入 学 金	200,000 円	—
授 業 料	400,000 円	400,000 円
教育充実費	100,000 円	100,000 円
合 計	700,000 円	500,000 円

\*平成31年3月29日（金）午後4時まで（必着）に本学所定の用紙により学納金の返還を申請した場合は、入学金以外の授業料等を返還します。

上記期限後の申請については、理由の如何を問わず、既納の入学金および授業料等は一切返還しません。

### 2. 奨学金制度

金沢医科大学大学院看護学研究科奨学金および日本学生支援機構奨学金の制度があります。

### 3. 修業年限および修了の要件

本研究科の標準修業年限は2年とし、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文を在学期間中に提出して、その審査および最終試験に合格しなければなりません。

#### 修了要件

看護教育学領域	合計30単位以上
地域生活支援看護学領域	合計30単位以上
高度実践看護学領域	合計40単位以上

### 4. 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合には、その計画的な履修を認め修業年限を3年とする長期履修制度を設けています。この制度は、学生の就業条件等に対応した個別の履修指導のもと、入学時より年次計画を立てて対応するものです。

### Ⅲ． 研究指導に関わる教員と研究テーマ・研究指導内容

領域	分野	指導教員	研究テーマ・研究指導内容	
看護教育学領域	看護教育学分野	坂井 恵子 教授	①看護教員のストレス要因の測定や看護基礎教育の教育方法、教育システム	
			②看護技術に関する基礎的研究	
			③看護教育者の能力に関する研究	
		矢野 恵子 教授	①女性の妊孕性領域における保健指導・相談に関する研究 ②ライフサイクルと妊孕性の教育に関する研究	
地域生活支援看護学領域	地域健康支援看護学	森河 裕子 教授	①地域健康支援に必要な地域の特性の把握・評価	
			②健康阻害要因や健康増進要因を把握するための記述・観察疫学研究	
			③地域の健康レベル向上のための効果的支援方法の介入研究	
	生活支援看護学	小林 淳二 教授	前田 修子 教授	①生活習慣病（脂質異常症、糖尿病）の成因、診断、治療、予後、予防ならびに、治療や予防における看護職としてのアプローチに関する研究
				①地域で生活する療養者と家族、特に高齢者の健康や生活環境の維持増進を図るための、療養者と家族への援助方法開発（感染管理、膀胱留置カテーテル管理、医療・衛生材料供給システム） ②訪問看護師への教育プログラム開発
		村角 直子 准教授	①糖尿病看護の対象者における生活の質（QOL）および行動や意識の面など要因の分析に関する研究 ②糖尿病看護のケア方法の開発	
			①高齢者の理解と健康支援（当事者・家族の体験、転倒予防に対するセルフケアサポートプログラムの開発、等） ②老年看護実践能力育成（評価指標の開発、等）に関する研究	
	高齢者支援看護学	平松 知子 教授	①医療施設から在宅等の様々な場における、褥瘡等やおむつ皮膚炎、ストーマケア等のスキンケア看護に関する様々な要因分析、アセスメント方法およびツール作成、ケア方法の開発、介入評価	
	創傷・スキンケア看護学	紺家千津子 教授	①精神保健、精神医療における看護の課題に関する質的研究	
	精神保健支援看護学	深沢 裕子 教授	田中 浩二 准教授	①精神に病いをもつ当事者と家族の生活世界に根ざした体験の解明、当事者と看護師の相互作用の中で展開する治療的看護ケアの考案に関する研究 ②臨床あるいは地域における精神看護技術の向上やケアプログラムの開発
				①精神障害者に対するストレングスモデルを基盤とした看護援助に関する研究 ②精神障害者の看護ケアに伴う倫理的課題に関する研究
		長山 豊 准教授	①精神看護専門看護師としての知識・技術修得の集大成として、精神的諸問題および高度実践看護に関する研究	
			①医療現場で生じる精神的諸問題を課題とし、看護実践能力を活用した研究	
	高度実践看護学領域	精神看護学分野 (専門看護師教育課程)	深沢 裕子 教授	①精神看護領域において、精神症状の再燃を繰り返す精神疾患患者への看護ケア、行動制限や意思決定に伴う倫理的葛藤への対応をテーマとした研究
田中 浩二 准教授			①クリティカルケア看護領域における周手術期看護、創傷、スキンケア看護に関する実践的課題をテーマとした研究	
長山 豊 准教授			①クリティカルケア看護領域における周手術期看護、創傷、スキンケア看護に関する実践的課題をテーマとした研究	
クリティカルケア看護学分野 (専門看護師教育課程)		紺家千津子 教授	①クリティカルケア看護領域における周手術期看護、創傷、スキンケア看護に関する実践的課題をテーマとした研究	

## IV. 個人情報の取り扱いについて

出願および入学手続きにあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、入学試験実施、合格発表、入学手続き等を行うために利用します。その他の目的に使用することはありません。

## V. アクセス

### 交通案内

#### ○ JR 金沢駅から

タクシーでは約 20 分

電車とバスでは約 30 分

(JR 金沢駅東口より、北陸鉄道金沢駅(地下駅)から北鉄浅野川線「内灘行」で終点内灘駅まで乗車。内灘駅からは、「金沢医大病院行」または「白帆台ニュータウン行」の北鉄バスに乗り換え、「大学前」で下車。)

#### ○ 小松空港から

タクシーで約 50 分

## VI. 問い合わせ先

金沢医科大学看護学部事務課(大学院看護学研究科担当)

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学1丁目1番地

TEL (076) 286-2211 (内線 7733)

E-mail kangoin@kanazawa-med.ac.jp

受付時間：平日 9～17 時、土曜日 9～12 時